

みずほCustomer Desk Report 2017/10/13 号(As of 2017/10/12)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	112.46
					GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	112.44	1.1864	133.39	0.9731	1.3238	0.7804
SYD-NY High	112.53	1.1880	133.48	0.9763	1.3292	0.7836
SYD-NY Low	112.13	1.1827	132.80	0.9713	1.3122	0.7786
NY 5:00 PM	112.29	1.1830	132.82	0.9755	1.3267	0.7819
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.47/8.87	△25RR	1.495	Yen Call Over		
NY DOW	22,841.01	▲ 31.88	債券市場	日本2年債	-0.1420	▲0.1bp
NASDAQ	6,591.51	▲ 12.04		日本10年債	0.0670	0.1bp
S&P	2,550.93	▲ 4.31		米国2年債	1.5127	▲0.6bp
日経平均	20,954.72	73.45		米国5年債	1.9380	▲1.8bp
TOPIX	1,700.13	3.32		米国10年債	2.3177	▲3.0bp
シカゴ日経先物	21,015.00	40.00		独10年債	0.4450	▲1.8bp
ロンドンFT	7,556.24	22.43		英10年債	1.3810	0.1bp
DAX	12,982.89	12.21		豪10年債	2.8020	▲1.5bp
ハンセン指数	28,459.03	69.46	為替市況	USD/CNH	6.5783	0.0046
上海総合	3,386.10	▲ 2.18		ドルインデックス	93.06	0.04
USDJPY 3M Vol	8.80	▲0.00%	商品市況	CRB指数	183.275	▲0.22
USDJPY 6M Vol	9.23	0.01%		NY金	1,296.50	7.60
EURJPY 3M Vol	8.41	▲0.04%		WTI	50.60	▲0.70
EURJPY 6M Vol	9.21	0.06%		Dubai Spot	55.02	0.07

東京	朝方に本邦9月国内企業物価指数(前年比/前月比)の結果が発表されたが市場予想通りの結果となり、市場の反応は限定的。東京時間のドル円は112.44レベルでオープン、22日の衆議院選挙に関する世論調査において与党優勢との報道を受けて日経平均株価は2012年11月以降のヘアリクス相場における最高値を更新する展開となったものの、ドル円の反応は鈍く狭いレンジ内での動きが継続。午後に入り米金利が小幅に低下する展開となると、ドル円もやや水準を下げ、112.26レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は112円台前半でもみ合い、112.26レベルでオープン。全般的なドル買戻しの流れを受けドル円は112.42まで上昇。しかしその後はバルコニエEU離脱主席交渉官の「離脱交渉は行き詰っている」「将来の通商条件についての交渉開始は提案できない」との発言を受けてポンドが全般的に下落すると、ポンド円下落による円買戻しの影響を受けドル円も反落し、112.31レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.32台半ばから1.31台前半まで大きく下落。1.3255レベルでオープン、序盤は1.32台前半で方向感に欠ける展開となったものの、上述のバルコニエEU離脱主席交渉官の発言が報道されると、ポンドは全般的に売られ、ポンドドルは1.3140レベルでNYへ渡った。(ロンドン・LFR- 00531 444 179 日比野)
ニューヨーク	NY時間のドル円は112.31レベルでオープン。朝方は米9月PPIが予想を上回ったことから112.45まで上昇するが、その後は米銀大手の決算がアナリスト予想を上回った一方、小売やケール会社の業績不振で株式市場が軟調に寄り付いたこともあり、ドル円は上値を押さえられ112.24まで反落。その後は次期FRB議長の候補として名前が挙がっているパウエル理事の「段階的な政策正常化が続く」との発言が伝わるものの、ドル円の反応は限定的となり、狭いレンジでの推移が続いた。午後は株式市場が軟調に推移する展開にドル円は上値を重くし、112.13まで下落。その後は米9月CPIや米9月小売売上高の結果発表を翌日に控え、調整中心の動きが続き、112.29レベルでクロスした。一方、ユーロドルはドル売りが継続したことから一時1.1880まで上昇し、1.1854レベルでNYオープン。朝方は米9月PPIの結果を受けたドル買戻しに1.1829まで下落。その後は軟調な株価を背景としたユーロ円の売りや、バルコニエEU離脱主席交渉官が、イギリスに2年間の移行期間としてEUに残れるような申し入れもできるとの意向を示したとの報道を受け、ユーロポンドが急落する動きもあり、1.1827まで下落する。その後一旦1.1850まで戻すものの、ユーロポンドの下落に上値は重くし、1.1830レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:坂本・森谷

【昨日の指標値】

Date	Time	Event	結果	予想
10月12日	8:50	日 国内企業物価指数(前月比/前年比)	9月 3.0%/0.2%	3.0%/0.2%
	18:00	欧 鉱工業生産(前月比/前年比)	8月 1.4%/3.8%	0.6%/2.6%
	21:30	米 PPI最終需要(前月比/前年比)	9月 0.4%/2.6%	0.4%/2.6%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 243K	250K
	23:30	米 パウエルFRB理事 講演	-	-
	23:30	米 ブレイナードFRB理事 講演	-	-
	23:15	欧 ドラギECB総裁 講演	-	-

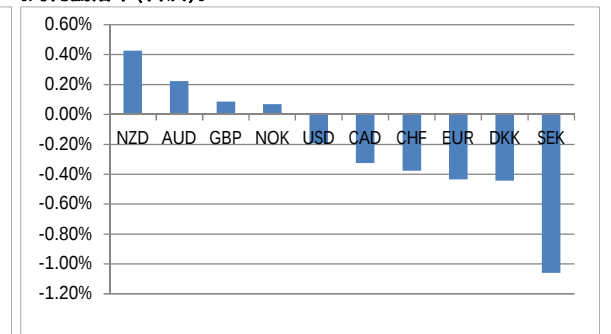
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月13日	8:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	-	中 貿易収支	9月 \$38.00B	\$41.92B
	-	中 輸出/輸入(前年比)	9月 10.0%/14.7%	5.6%/13.5%
	15:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	9月 0.1%/1.8%	0.1%/1.8%
	15:00	独 EU基準CPI(前月比/前年比)・確報	9月 0.0%/1.8%	0.0%/1.8%
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	9月 0.6%/2.3%	0.4%/1.9%
	21:30	米 コアCPI(前月比/前年比)	9月 0.2%/1.8%	0.2%/1.7%
	21:30	米 小売売上高(前月比)・速報	9月 1.7%	-0.2%
	21:30	米 ローゼン格林・ポスト連銀総裁 講演	-	-
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	10月 95.0	95.1
	23:25	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	-
10月14日	0:30	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.00-112.80	1.1780 - 1.1880	132.50-133.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場のドル円相場は112円台前半で小動きとなった。発表された米9月PPIや新規失業保険申請件数は総じて良好な結果となったものの、高値警戒感も広がっていた米株が下落し、米10年債利回りも低下したことが相場の重石となった。本日もレンジ相場が継続すると予想。本日は米9月CPIや米9月小売売上高の発表が予定され、いずれも良好な結果が予想されている。ただし、8割弱まで織り込まれた12月米利上げ確率を一段と深めるには時期が早過ぎる印象。週末を控えて動きを欠く中、大きな値幅とはならないと予想。